



教科書と問題集を一つのアプリでデジタル化、一番身近なICT教材

デジタル教材プラットフォーム「Libry(リブリー)」

いつもの教科書や問題集がそのままデジタル化したサービスです。生徒には荷物持ち運びの負担軽減と学習履歴をもとにした主体的に学ぶ態度の育成、先生には宿題管理のデジタル化による業務時間削減を提供しています。



サービスのベネフィット

教科書や参考書・問題集をデジタル化しており、もとの学校用教科書・教材そのままなので、先生も生徒も手間なくICTを活用した教育が実現できます。本と同じ様に閲覧と学習ができ、宿題配信も問題を選ぶだけなので、学校現場によく馴染むICT教材となっています。

サービスのターゲットと効果

【生徒】

教科書や問題集がデジタル化されることで持ち運びが楽になり、学習履歴を活用することで復習や応用、テスト対策を効率的に行うことができます。

【先生】

宿題課題の配信が楽になり、こまめな課題管理が実現できて指導の質や効率が上がります。勤ではなく、学習履歴を元にしたデータでの指導が実現できます。
宿題の確認業務に1日3時間かかっていたが、Libryを導入することで15分に節約できました

サービスの利用事例

【1人1台端末の活用事例】

70%超の生徒がデジタル教材の学習効果を実感

愛媛県下でトップクラスの公立高校である松山南高等学校は、「自学自習の効率化」を主目的として、理科「地学」を皮切りにLibryを導入し、その後、数学、英語、理科〔化学・生物・物理・地学〕の3教科6科目でLibryを活用しています。「生物基礎」を選択する高校1年生、2年生を対象に「デジタル教材の学習効果に関するアンケート調査」では、学習効果について、70%超の生徒から「デジタル教材は『学習効果が高い』『紙書籍と同等』」というポジティブな回答があり、「紙書籍の方が学習効果が高い」と答えた生徒の割合を大幅に上回りました。

【教師の業務効率化】

宿題チェックの時間を9割削減、教員としての仕事に向き合えるように

Libryを導入した神奈川大学附属中学・高等学校の教師からは「これまで宿題確認に1クラス30分～1時間、1日あたり3時間ほどかかっていたが、15分で終わるようになりました。」という声があります。同校ではLibryを活用することで教員の業務時間を削減でき、さらに空いた時間を用いて授業充実に注力できるようになりました。生徒の理科への興味関心や課題への自主性の向上につなげています。

AWS 選定のポイント

- プロダクトのスケールに柔軟に対応できるインフラサービスを検討しており、その中でAWSが候補に上がった。
- スタートアップに対する支援が提供されていることで、速やかにサービスの展開を実現できる点。
- ドキュメントが整備されていることと、情報量が多いことによりキャッチアップしやすい点。